

市民アンケートの実施について

1. これまでの報告事項

分野別アンケートの実施（R5 第1回策定委 基本方針案より）

アンケートにより市民や市内事業者等からの意見を聴取し、その意見を取りまとめ・分析を行ったうえで、総合計画を策定する。市民等には、和泉市のことを理解してもらうための紹介動画をご覧ください、そのうえで回答をお願いする。

アンケートの想定案		
番号	対象者	内容
i	市民（無作為抽出）	市内在住の18歳以上の市民、男女3,000人を無作為抽出したアンケート。（紙配布 紙及びWeb回答）
ii	市公式LINE登録者	本市の公式LINEに登録している市民を対象としたアンケート。（LINE回答）
iii	桃山学院大学生	和泉市で一人暮らしをしている桃山学院大学の学生等を対象としたアンケート。（調査票配布 Web回答）
iv	児童・生徒	市内小中学生を対象（学年は調整）としたアンケート。（学校と調整のうえWeb回答）
v	事業者	商工会議所や商店連合会等を通じ市内事業者を対象としたアンケート。（調査票配布 Web回答）
vi	各種団体等	福祉、文化等の市内各種団体を対象としたアンケート。（調査票配布 Web回答）
vii	子育て世帯	子育て世帯を対象としたアンケート（調査票配布 Web回答）

策定委員会報告時の意見等（抜粋・要約）

Q 市民アンケートとLINEアンケートで質問を変えるのか。

A 内容は変える。LINEの方が手軽に回答できるものを考えている。

Q （アンケート案を見て）アンケートはこれで確定か？

A 今後、コンサル事業者と調整しながらつくっていききたい。また、各課で既に実施しているアンケートが活用できるのであれば、それを活用することも考えている。

Q 小中学生と大学生があるが、高校生は含めないのか

A こどもへの聴取のなかで、市の所管であり協力を得やすいという観点から、市立の小中学校とした。大学生については、「大学生」というくくりではなく、市外から転入してきた一人暮らしの若者の意見を聞きたいという趣旨。

Q 各課で行うアンケートと重複する部分が出てこないか。

A 他のアンケートと重複しないよう、内容を確認する。

2. 変更事項

各課で実施した各種アンケートを収集・調査したところ、「各種団体等」「子育て世帯」については既存のアンケートで代用可能と分かったため、実施しないこととする。

アンケートの想定案		
番号	対象者	内容
vi	各種団体等	福祉、文化等の市内各種団体を対象としたアンケート。(調査票配布 Web 回答)
vii	子育て世帯	子育て世帯を対象としたアンケート (調査票配布 Web 回答)

■ 各種団体等

調査：地域福祉計画に係る市民アンケート調査（R5. 9）

対象：無作為抽出した市民 3,000 人

活用できそうな調査項目（一部抜粋）

- ・ 地域行事や地域活動がもっと活発に行われるようにしていくために大切なことは。
- ・ お住まいの地域は、住みやすいか。（併せて理由）
- ・ お住まいの地域には、以下の問題（困りごと）や課題がある（将来に対する課題を含む）と感じているか。
- ・ 和泉市が安心して暮らせるまちだと思うか。
- ・ 和泉市行政の取組が、人権尊重のまちづくりの役に立っているか。
- ・ 和泉市行政の取組が男女共同参画の役に立っているか。

■ 子育て世帯

調査：和泉市こども・子育て支援に関するニーズ調査（R6. 4）

対象：小学生以下の子を持つ親

活用できそうな調査項目（一部抜粋）

- ・ 和泉市の子育て環境や支援に関して、評価できる点、もっと充実してほしい点は。
- ・ 子育てに関して、日常悩んでいること、あるいは気になることは。
- ・ こどもの身の安全について、不安に思うことや心配なことは何か。
- ・ どのような支援やサービスがあれば、子育ての負担を軽減するのに有効か。
- ・ 和泉市の子育て環境や支援への満足度は、5段階評価だと何点くらいか。
- ・ 和泉市の子育て環境や支援に関して、評価できる点、もっと充実してほしい点は。

市民アンケートは、以下のとおり実施を想定しています

アンケート企画について1/2

	アンケートの調査		
	市民	市公式LINE登録者	桃山学院大学生
対象	和泉市に居住する18歳以上の男女	和泉市公式LINEに登録している市民	和泉市で一人暮らしをしている 桃山学院大学の学生等
標本数	3,000人	〔参考:R6年6月4日現在の登録者数〕 99,860人	〔参考:R5 桃山学院大学アンケートより、回答者2,094人のうち一人暮らしの学生:397人〕
調査方法	郵送（返信はWebも可）	LINEを介したWEB回答を2回実施	学生ポータルサイトに掲載し、WEB回答
実施目的	和泉市の現状と今後の期待を把握するため	市公式LINEを主に登録している若年層目線での和泉市の魅力や課題を把握するため	大学生目線での和泉市の魅力や課題などを把握するため
設問項目（案）	➢ 和泉市の居住環境やまちづくりへの満足度・重要度 ➢ 今後の定住意向 ➢ 和泉市の雇用の状況 など	■ 1回目 ➢ 和泉市をどんなまちにしたいか ➢ 和泉市の将来像にふさわしい言葉（キーワード） ■ 2回目 ➢ 和泉市の将来像テーマ	➢ 和泉市の魅力 ➢ 和泉市の良い点・悪い点 ➢ 和泉市の住みやすさ ➢ 今後取り組むべきこと ➢ 今後の定住意向 ➢ 和泉市での就業意向 など
アンケート活用イメージ	➢ 住民の定住意向、施策の満足度・重要度等、市に関する現状を把握し、課題を抽出する ➢ 重点施策・非重点施策の判断、今後の施策検討に活用する	➢ 1回目⇒市のイメージについて確認し、将来都市像のキーワード検討に反映する。 ➢ 2回目⇒将来都市像の候補を示し、投票してもらうことにより、将来都市像の決定に活用する。	➢ 1人暮らしの大学生が抱く市の現状を把握する ➢ 1人暮らしの大学生の居住意向を向上させる（もしくは将来候補としてもらう）ための施策検討につなげる

市民アンケートは、以下のとおり実施を想定しています

アンケート企画について2/2

	アンケートの調査			
	児童・生徒	事業者	各種団体	子育て世帯
対象	和泉市内の小学6年生及び 中学3年生	和泉市内の事業者		
標本数	教育委員会と調整	調整の上決定		
調査方法	WEB回答	商工会議所・商店連合会等(未調整) を通じて、配布。WEB回答		
実施目的	和泉市の現状と今後の期待を把握するため	事業者を取り巻く環境の変化や ニーズの変化を把握するため	既存のアンケートで代替することとする (地域福祉計画、子ども子育てに関する ニーズ調査等)	
設問項目 (案)	➤ 和泉市の好きなところ、嫌いなところ ➤ 和泉市に住み続けたと思うかどうか ➤ もし自分が市長ならやりたいこと など	➤ 事業における現状・課題 ➤ 和泉市で事業を行う上での良い点・悪い点 ➤ 事業者に対する和泉市の取組への満足度 ➤ 重要だと思う取組 など		
アンケート活用イメージ	➤ 児童・生徒が抱く市の現状を把握する ➤ 児童・生徒の居留意向を向上させるための施策検討につなげる	➤ 事業者の現状を把握し、産業・雇用面に関する課題を抽出する ➤ 所管部署に共有し、今後の産業・雇用施策の検討につなげる		